

令和6年度 地域おこし協力隊実績報告書

余市町長 様

余市町地域おこし協力隊員 實田 有希

令和6年度余市町地域おこし協力隊の活動内容について、余市町地域おこし協力隊設置要綱第8条第2号の規定により、その実績として関係書類を添えて報告致します。

- 1、平川ワイナリー支援
- 2、余市駅前「Y' n (わいん)」支援
- 3、町外でのイベントの企画／研修
- 4、独立・定住化に向けての準備
  - (1) 飲食店「ワイン、ときどき豚」の新規開店
  - (2) ワイン用ブドウ畑「さねとの庭」の整備及びブドウの栽培

## 1、平川ワイナリー支援

前年に引き続き、畑作業を中心として梅枝固定や剪定作業などを行いました。

## 2、余市駅前「Y' n (わいん)」支援

前年に引き続き、毎週金曜日にソムリエとして店舗に立つほか、日常業務、ワイン選定、仕入れ、定期的なイベント、ワイン会などを行ってきました。5月には「7周年イベント」の企画を実施し、盛況を博しました。

### 【日常業務】

良質なワイン選び、品質の確認、観光の方へのワイナリー情報の共有や余市近郊のPR活動。ボトルリストやメニュー作成、棚卸しなど。

### 【ワインの選定、仕入れ】

定期的に余市町内のワイン取り扱い店舗をまわり、新商品の確認、8種類あるグラスワインのバランスの調整など。



### 3、町外でのイベントの企画／研修

年間を通じて、余市町産のワインを使った飲食店などとのタイアップイベントを実施。町外にも広く余市町のワインの魅力を伝えました。また、自身の見聞を深めるためにワイン用ブドウの栽培や醸造についての町外研修にも出かけました。

#### 【イベントの開催】

◎京都と大阪にて、余市町産ワインを使った飲食イベントを開催（京都2軒／大阪2軒）

◎特急ニセコ号にて余市の特産品の販売

◎小樽アンwindホテルにてイベント「テイスト・オブ・余市のテロワール」を開催

◎12月、余市観光協会と共同で「ワイン、ときどき豚」にて「平川ワイナリー×チアーズ」のイベントを開催



#### 【研修】

◎10月、函館にて農業研修（@株式会社はこだてわいん）

◎3月、ニュージーランド研修・視察

マーティンボロの「クスダワインズ」で収穫前作業と収穫の研修

マーティンボロ及びワイヘキ島のワイナリーを視察



## 4、独立・定住化に向けての準備

### (1) 飲食店「ワイン、ときどき豚」の新規開店

国の「事業再構築補助金」を利用し、余市町黒川町の空き店舗の改装をスタート。平行してメニューの試作やクラウドファンディングの立ち上げ、FM小樽でのPR活動などに取り組み、6月に余市町のご当地豚である「北島豚ワインポーク」を使った料理とワインを気軽に楽しめる飲食店「ワイン、ときどき豚」をグランドオープンしました。



後述するワイン用ブドウ畑「さねとの庭」の農業作業と並行して、主にディナータイムに店舗に立ち、ソムリエやバーテンダーとして接客やドリンクメイクを行うと共に、地元より雇用したスタッフやアルバイトの教育に取り組みました。

「ワイン、ときどき豚」として、町内のお祭りにも積極的に出店し、町の活性化と知名度アップに務めました。

- ・ 7月 「よさこいソーラン祭り」出店
- ・ 9月 余市駅周辺の飲食店5店で「余市街なかワインラリー」を初開催。  
企画立ち上げから運営までを担う。  
「ラ・フェト」出店  
「味覚の祭典」出店



## (2) ワイン用ブドウ畑「さねともの庭」の整備、ブドウ栽培

年度当初から前年度に取得した梅川町の農地を整備・耕作し、ワイン用ブドウの苗を植える準備を開始。測量や杭打ちを行い、6月には1.2haの「第1農園」に、シャルドネとピノ・ノワールの苗木約2,600本を定植しました。

年間を通じて、防除や除草などの育苗管理や剪定のほか、端杭の補強などの園地管理を手がけました。

また、10月には約0.5haの「第2園地」の開墾と整備にも着手。翌年の園地拡大の準備を進めました。



以上